

## 令和3年度 第1回鱈ヶ沢町総合教育会議議事録

### 開催日時

令和3年10月26日（火） 午前10時00分開議 午前11時25分閉議

### 会議場所

鱈ヶ沢町役場 2階 庁議室

### 出席委員

平田 衛（町長） 阿彦 正弘（教育長） 山崎 康裕（委員長職務代理者）  
工藤 道代（教育委員） 田附 藤子（教育委員） 尾崎 充美（教育委員）

### 出席事務局

加藤 隆之（副町長） 工藤 章彦（総務課長） 長谷川 英士（総務課長代理）  
小笠原 忠（参事兼社会教育課長） 櫻井 春樹（学校教育課長）  
奈良 貴光（社会教育課社会教育班長） 千田 秀人（社会教育課スポーツ振興班長）  
須藤 久輝（学校教育課学校教育班長） 一戸 孝美（学校給食センター長）

### 次第

- 1 開会
- 2 町長挨拶
- 3 意見交換 テーマ：鱈ヶ沢町のこれからの教育について考える
- 4 閉会

### 配付資料

- ・ 次第
- ・ 出席者名簿
- ・ 鱈ヶ沢町総合教育会議設置要綱等
- ・ 資料1 町内児童生徒数の現状・推移と校舎の現状ほか
- ・ 資料2 町コミュニティ・スクール関係代表者意見交換会における各種意見
- ・ 資料3 小中一貫教育のイメージ

## 議事録

長谷川課長代理	<p>定刻の10時となりましたので、令和3年度第1回鱒ヶ沢町総合教育会議を開催いたします。</p> <p>開会に先立ちまして町長より、一言挨拶がございます。</p>
平田町長	挨拶
長谷川課長代理	<p>ありがとうございました。</p> <p>それでは続きまして協議に入りたいと思います。</p> <p>はじめに、会議設置要綱第4条の規定により、町長が会議の議長を務めることになっておりますので、以降の進行は町長にお願いしたいと思います。</p> <p>町長、宜しくお願い致します。</p>
平田町長	<p>それでは、進行を務めさせていただきます。</p> <p>よろしくお願いいたします。</p> <p>本日の意見交換のテーマは、鱒ヶ沢町のこれからの教育について考えるであり、非常に重いテーマであります。まずは自己紹介をお一方ずつお願いしたいと思います。</p>
山崎委員	教育委員になって2期目の山崎です。よろしくお願いいたします。
尾崎委員	9月24日から教育委員を務めています。尾崎です。よろしくお願いいたします。
田附委員	教育委員になってまだ1期目で今日も緊張していますが、出来るだけ発言するようがんばります。田附です。よろしくお願いいたします。
工藤委員	中村生まれ中村育ちの工藤です。あと1年、教育委員の任期が残っています。よろしくお願いいたします。
阿彦教育長	<p>教育長を拝命しまして4年目です。2期目になりました。</p> <p>町長からいろいろご助言いただきながら、町の教育行政を進めていきたいと思っております。</p> <p>教育委員の皆様には、我々の目線では見えない部分等がかなりあると思うので、それぞれの目線で意見を頂ければと存じます。</p>
平田町長	<p>町長の平田です。皆さま顔見知りの方々ですが、どうぞよろしくお願いいたします。</p> <p>それでは早速、意見交換会に入ってまいりたいと思います。</p> <p>皆さま、教育長のほうから事前に宿題みたいなものをお願いされているみたいなので、まず一人ずつご意見等を頂きたいと思います。</p> <p>まず山崎委員からお願いします。</p>

山崎委員	<p>まず、小中学校の統合や、一貫教育の話です。今月、学校訪問をやらせていただきましたが、その中で西海小学校は児童数が少なく、舞戸小学校は結構児童数が多い学校であり、教室にびっしりみたいな感じで、教室の後ろの方では授業に集中できてない子とか、目が届きづらいのかなと感じました。</p> <p>逆に西海小学校の場合は、十何人とかで、目が行き届きすぎるといえるか、そういう雰囲気があります。</p> <p>最近、子供たちに競わせるのを嫌う親がいますが、私は大人になってどうしても競い合わないといけない場面が来ると思います。そのためには子供の頃から競い合っていく環境が必要であり、そのためにある程度の人数が必要なのではないかと思います。小学校に関しては、2校を合わせて半分に割った位の教室が丁度いいのではないのかなと思います。</p> <p>小中一貫のパターンについては何通りかありますが、今の時点で、自分でこれが良いというのは決まってないです。</p> <p>新しい校舎を建てたとしても、それが20年、25年後に空箱になってしまうという事がないわけではなく、国からの支援みたいなものがあるらしいですが、できれば、既存のものを使って校舎にしたほうがいいのではないのかなと思っています。</p> <p>更には、減っていくからこうしようではなくて、町長の言う通り、誇れる町、住みたい町など、そういう魅力のある町にして子供たちや若い家族にこの町に住んでいただきたい、そういう政策にお金をまわして欲しいなと思います。</p> <p>話は変わりますが、昨日、防災座談会に参加したのですが、参加人数が6名です。防災に関する意識が足りてないみたいな気がします。町として、町民が防災に興味を持つような仕掛けが必要ではないかと思えます。</p>
平田町長	工藤委員どうぞ。
工藤委員	<p>私は統合に関しては、今がどうのではないと思います。</p> <p>町長がこういう町づくりをしたい、こういう教育理念でいきたい、学校側もこういう教育でいきたいという様々な理念があると思うのです。</p> <p>そこには子供が主体でないといけない。子供が主体ということは、町長が望む人づくりというところまで考えていきたい。でも、20年、30年先はあまり考えたくないです。</p> <p>10年先はどうなっているか、先を見据えて子供達はいいいのか悪いのか、何をやってもいい事と悪いことは背中合わせなので、どうなってもいい方向に変えて行けるように。</p>

	<p>自分ではいい方を考えて生きていきたい、マイナスであっても教訓となるマイナスならプラスに変わるような。</p> <p>私は幼児教育やっていたのですが、10年先を見据えて子供達を育ててきました。何を10年先育てるのかというと、3歳も6歳の子も自分の意見を発表しようという、自分の主張があるわけです。その主張をまず受け止めて、でも今はその主張より何が大事かというのを少しずつ話しながら、10年先、この子は自分の意見を主張できる人間なら、どんどん変わっていけるだろうとか、大人しくて何でもはいはいと聞く子でいいのだろうかとか、考えてきました。</p> <p>10人居れば性格が全部違います。10年先、この子には今この教育が必要とか、このクラスはもう少し積極性を養いたいとか、学力がこのクラスは伸びてないから底辺を伸ばすのか上を伸ばすのか、中間層を伸ばしながら上も下も引っ張っていくのか、行き当たりばったりでなく先のことと今のことを考えながら、先生と教育委員会と意思疎通を取りながらやって行ける鱈ヶ沢町であったら、この人づくりにも段々繋がって行けるのかなと思います。</p> <p>一貫教育が必要なら、何が良くて今何が必要なのかどうかを見極める勉強が必要だし、先進地に視察に行くのも必要だし、先を見据えての鱈ヶ沢町を作っていければと思います。鱈ヶ沢町は楽しい町だな、ここに住んで良かったと思える町であって欲しいので、教育はそこから始まっていると思っています。</p> <p>一貫教育も大事だと思いますが、今が必要な時だと考えていません。小学時代の学力の差も、中学で一緒になった時に見えてこないということは、因果関係がないのでは。今がどうのではなく、時が来たら一貫教育も必要になってくるだろうし、それが5年先か10年先かは私の判断では分からないので、時代に沿っていかれたらと思っています。</p>
平田町長	はい、田附委員お願いします。
田附委員	<p>児童生徒数とかを見ていると、物凄いスピードで減っているのですが、小中一貫も有り得ると思ったのですが、ただ生徒数が少なくなったから統合するのではなく、以前の会議の資料にもありましたが、今の子供達は成長が早いというのもあり時代にあわせて小中一貫というのも考えていかないといけないなと思っています。</p> <p>スピードが速くて、じっくり考えて答えを出している暇もなく、ゆっくりしてられないなという危機感を感じています。</p> <p>それから、自分の子供が大人になって保護者の立場になった時、鱈ヶ沢町は子育てしやすい環境になっているのか、今私たちがどうにかしな</p>

	<p>ければならないと思っています。子供達がこの町で子育てして良かった、子育てしたいと思える町にできるのは、私たちなのかなと。</p> <p>今のままだとこの町にいた方がいいよと友達に言えるのか、ふるさとに愛着を持ち郷土愛を持って貰うためには、私たち大人が考えていかないと思います。</p> <p>統合にしても小中一貫にしても、もっと多くの人の意見を聞いて、少し早いスピードで決めていかないといけないのかなと思います。</p>
平田町長	尾崎委員どうぞ。
尾崎委員	<p>教育制度6・3制を否定する気はないのですが、小学校の6年間は長い気がします。それと小学校から中学校へ進んだときに環境の変化やシステムの違いとかに戸惑う子供が結構いるので、このギャップ、段差をスムーズに越えられるようにしてやれないかなという気は持っています。</p> <p>それから、発達段階に学年をまとめて指導にあたる、あるいは環境を設定してやる事も大事なのかなと最近感じます。</p> <p>いずれにせよ、これから少子化が進んで行く中、鱈ヶ沢町としてもこの少子化に対応した最適な教育環境を構築していくこと、これは早急ではないが、ゆっくりでも困るというものもあるかと思っています。</p> <p>今、小学校が2つで少人数での指導の利点もあるかと思っています。これが、1学級の少人数でなく1学年、例えば2つのクラスがあって教育が展開されるようになった時、それはまたそれでメリットが多いのかなと思います。張り合いとか緊張感とか切磋琢磨するというような、そういう環境に成り得るのかという気もしております。</p> <p>ただ小学校を統合する場合、併設、小中一貫いろんな考え方があると思います。時期とか場所とか或いは町民への対応、或いは財政的な事等クリアしなければいけない問題があると思います。これをひとつひとつ越えていかないとならないのかなと、思っております。</p> <p>次に、高校です。特に中学校と鱈ヶ沢高校の関係ですが、現在よく交流がなされており、今後も良好な関係が続くと期待しています。</p> <p>ただ鱈ヶ沢高校が県教委の再編計画で地域校という位置づけになっておりますが、鱈ヶ沢町から県教委へ要望が出されていますし、また、鱈ヶ沢高校の存続のための全国募集とか活性化推進とか今後どのように展開されていくのか、見極めて行く必要があるのかなと思っております。それを持って中学校の対応を考えていく必要がある気がしています。</p> <p>11月中には県教委から発表があるというのが聞こえてきています。</p>

	<p>そういったことも含めて判断していかなければいけないと思っております。</p>
平田町長	<p>県立高校ですが、近年敷居が低くなりまして、校長先生とも非常に良い関係を築いていますし、様々な支援も行っています。</p> <p>今、存続というのを大きな目標としてやっているのですが、地域校になれば、募集人員の2分の1を下回るのを2ヵ年続くと募集停止で廃校という流れになっています。</p> <p>今、鱒ヶ沢町と他の地域校3校、大間、六ヶ所、三戸の自治体が一緒になって何かできないかと考えております。</p> <p>県の教育委員会からは高校魅力化のための活性化協議会の設置と全国募集を提案されて、我々も良い提案だと思っているのですが、それを2ヵ年でやるとなると大変厳しい。期間も少ないし、また、ノウハウもない、何とか高校再編計画は5年ですので、5年間でやらせてくださいと教育委員会に要望するという状況になっております。</p> <p>尾崎委員、統合については、どういう意見ですか。</p>
尾崎委員	<p>小学校については、統合した場合、1学年に2つのクラスを展開できるようにデータから行くとそうなっています。そうなれば2学級での展開のメリットがあるのかなと。</p> <p>2学級あると緊張感もあったりとか、競い合いとか切磋琢磨とかという部分が出て来る。1学年1学級のメリットもあると思うが2学級というのも大事な選択肢かなと思っています。</p>
平田町長	<p>ありがとうございました。4人の方からご意見を頂きました。</p> <p>統合の話が出ましたが、内部でも統廃合については、検討しています。その前に学区再編で小学校2つ、中学校1つということできずとやってきましたけども、その後の展開も考えています。議会からも一般質問で出ています。</p> <p>我々としては統合を目標にと考えてはいるのですが、今現在、西海、舞小の保護者が統合の必要性を感じているのか、感じていないのか、疑問を感じています。</p> <p>議会では、先ほどの山崎委員、尾崎委員と同様に、競うという観点からも、統合が良いのではという議論になっています。ただ数だけで統合していいのか、少人数は少人数の利点もあることを考えていくと、少子高齢が進む中でどちらがいいのか当然考えていかなければならないと思っています。</p> <p>先ほどもありましたが、統合についての考えをお聞かせ下さい。</p> <p>山崎さんは統合したほうが良いという考えですか。</p>

山崎委員	統合した方が、競う事もでき学力も上がるのでは。
平田町長	田附委員はどうですか。
田附委員	最初は、小学6年間を終えて中学に入り、他校の児童と一緒にすることで緊張感やメリハリとか凄く大事だと思っていたのですが、様々な意見を聞いて、統合がいいのかなと考えが変わってきました。
平田町長	工藤委員はどうでしょう。
工藤委員	私は出来れば今の状態でやればと思います。 なぜなら、西海は西海の特色があります。舞小も舞小なりにあります。2つ学校があることによって学校自体も競うということを考えれば、子供同士が競えなくても、そういう良さもあると思うので、私は現時点での統合は考えてなく、複式になった時にそれがどう影響するかによって、子供が一番の中心ですから、そこでまた考えれば良いのかなと思っています。 今は、統合は考えていません。
平田町長	皆様それぞれ状況を把握した上で考えておられるので、様々意見があります。尾崎委員、再度お願いします。
尾崎委員	結論から言うと、統合した方が良いという意見に近いです。 ただ、統合ということの理解を得る必要があります。これは怠ってはいけないと思います。 町民の理解を頂くことが是非とも必要であると思います。
平田町長	町としてもそこは慎重に皆様のご意見を伺いながら、十分説明責任を果たしていかなければならないと思っています。 一時期、学校がなくなることで地域が衰退するという話もありました。鱈ヶ沢第二中学校のときはかなりの反対運動がありまして、様々なことがあったように聞いています。 今の地域バランスとかを町民がどう考えているのか分かりませんが、基本的に今の子供のためにというのが第一義的になっていくと思います。いろんな方のご意見を聞きながら、説明しながらやっていくというところで進めています。 この件については慎重に考えていかなければと思っていますが、教育長は、統合について何かありますか。
阿彦教育長	各学校での特色ある生徒が、中学に行き新しい関係を作り一つになって行くことや、新しい環境での新鮮さは非常に大事だなと思います。 統合が必要というより、私は小中一貫教育が必要だと思っていました。現在の3校のままでも一貫教育は出来ないわけではないのですが、最も効率よく効果的にやるには、やはり小中が一つになって、共通の時

	<p>間、共通の建物にいれば理想的であるという思いはあります。</p> <p>なので、統合の件について、数が少ないからではなくて、その先の一貫教育をやるには、小学校も1つにまとまっている方が良いのではないかという考えです。</p>
平田町長	<p>統合関係については、皆さまのご意見を伺いました。先ほど教育長も話しましたが、一貫教育について資料があるという事で、それを見ていただいてから皆様のご意見を伺いたいと思います。</p>
須藤学校教育班長	<p>三戸町の三戸学園と岩手県大槌町の吉里吉里学園いう小中一貫教育を導入している学校の動画です。</p>
一同	<p>動画視聴</p>
平田町長	<p>三戸町では非常に教育に関して進んでいるところです。この一貫教育をやる前に職員を文部科学省へ1年派遣しており、そこで当然ノウハウは学んだろうし、また、繋がりも付けて来ただろうと思われま。その職員が帰って来たところでこの小中一貫をやったとのことでした。</p> <p>当初は小中一人ずつ校長先生がいたみたいですが、今は一人の校長先生で全部見ているという状況だそうです。</p> <p>大槌町もふるさと教育の話がありましたが、ここも立志科という科があり、そこで三戸町と同様にふるさと教育をやっているという話を三戸町長から聞きました。また、教育長からも話を聞き、非常に素晴らしい取り組みだと思っています。</p> <p>では、小中一貫教育について皆さまのご意見を伺いたいと思います。工藤委員、何かありませんか。</p>
工藤委員	<p>小学1年生が中学3年生を見たときに、凄く怖いと思います。ただ、小学1年生から中学3年生までが一緒になった時に、かなり戸惑いがあるだろうと思う反面、今は少子化なので、兄弟と触れ合う機会が少ないとしたら、お兄ちゃんお姉ちゃん兄弟関係というのはとても良い教育になるだろうと思います。やり方次第では面白いとも思いますが、年齢差が大きすぎると、やる内容も考えないといけないと思います。</p> <p>郷土愛ということからすると、三戸町の子供達は生き生きと見えました。教育というのは大事なのだらうと思いました。なので、一貫教育は悪いことではないのは分かります。</p> <p>ただ鱒ヶ沢町に当てはめたときに今の時期なのかというのはあります。</p>
平田町長	<p>はい、分かりました。山崎委員お願いします。</p>
山崎委員	<p>私は新しもの好きなので、新しいことをするとなるとワクワクしてきますのですが、大槌町の動画の中で祭りの風景がありますが、地域の文化</p>

	<p>である祭りを子供達がやっているというのは、今の鱈ヶ沢町から見ると羨ましく思います。</p> <p>鱈ヶ沢町にも白八幡宮大祭がありますが、子供達が少なくなって祭りの存続自体も危うく、子供達を出したいがためにお金で釣って出すみたいな状態です。それはおかしいと思うのです。出たくて出る祭りでない面白くないし意味がないのでは。八戸のえんぶりや三社大祭を見ると子供たちが生き生きとして見える。</p> <p>なので、小中一貫教育になった際は、地域の文化を学ぶというのは欲しいです。さらには、小学校から中学校に上がる時のギャップがあるというのが解消されると思います。</p> <p>あちこちから集まってきたという新鮮味はないのだろうけど、何十年のことを考えれば、1歩でも2歩でも先に進めて行っては良いのではないかと思います。</p>
平田町長	<p>ありがとうございます。</p> <p>尾崎委員、先ほども小中一貫についてお話されていましたが、更にご意見ありましたらお願いします。</p>
尾崎委員	<p>6年生制度と3年生制度がちょっときついのかなと感じます。</p> <p>特に小学生については、6年というスパンではなくて、入学から始め3年や4年までの区切りをつけて、そしてさらに小学校から中学校への移行の段階があればと。</p> <p>小学校と中学校ではシステムが違うので、児童生徒もそうですし、先生方もそうです。それぞれ、小学校ではこう中学校ではこうとお互いの理解を経て、それが、子供達の教育へ反映されていくのでないかと。そしてそれが悪い方へ行くのではなく、良い方へ進んで行くのでないかというのが強いです。</p> <p>小中一貫には来年、再来年からというのではないですが、そこを見据えての対応が必要でないかと思います。</p>
平田町長	<p>ありがとうございました。田附委員どうぞ。</p>
田附委員	<p>動画を見て小中一貫というのがリアルにわかって、一緒に建物にあっても制服もあったりジャージもあったりと、メリハリもあるのかなというのも結構感じました。</p> <p>交流もあって、掃除や休憩時間とか一緒になる機会も結構あっていいなと思いました。</p> <p>ただ、中学生の不登校が多く、理由がいじめだけでなく、担任や学校に馴染めなくて行けないというのもあったので、そこも慎重に考えていかなければならないと思いました。</p>

平田町長	なるほど。ありがとうございました。教育長、先ほどと同じ意見になりますか。
阿彦教育長	<p>先ほどにプラスすると、三戸町もそうですし、大槌町もそうですし、一貫校という学校になると新しく教科を設けることができます。</p> <p>動画の立志科では、中身はふるさと学習とかふるさと教育になると思うのですが、そういったことが出来るのは非常に魅力的だと思います。</p> <p>また、町長の町づくりの方針と重なる部分もあるのですが、ふるさとに愛着と誇りを持ち未来を展望する人材の育成という、ふるさと教育を一貫して出来るというのが大きな魅力ではないかと思います。</p> <p>今でもやろうとすればやれると思うのですが、それが一本化して複数年やるとなるとブレが無く、6歳から15歳まで9年間一貫して少しづつふるさとの良さを知ることによってふるさとに愛着を持ちこの町に住んで良かったなど、卒業してもまた戻ってこようかなという気持ちになればいいなという願いをこめて、一貫教育では新しいふるさと科みたいなものを作って浸透させていけば良いのではないかという願いがあります。</p>
平田町長	<p>統合と小中一貫教育について皆様からご意見を伺いました。</p> <p>あと1つだけ皆様にご意見を伺いたいのは、町の教育委員会と県の教育委員会は違うと思いますが、最近では地元の小中と高校の関係が非常に深くなっています。</p> <p>これから更に深くなっていくだろうと私は思っていますし、教育委員会でも今年、中・高で運動会を実施したり、先生方の交流の予定もあり、高校まで視野を広げた取組みを教育委員会で手がけているという状況にあります。</p> <p>そこで鱒ヶ沢高校を含めて小・中・高の関わり方について何かご意見を頂きたいと思います。山崎委員いかがでしょう。</p>
山崎委員	<p>教育委員になってから思っていたことですが、普通校にあっては進学校、あとは工業高校とか、実業の知識を身に付けられる高校には魅力があると思うのですが、鱒高とか地方や田舎の方の学校は、進学校でもなく特別なものがない学校に、親にしても生徒にしても行った後はどうするのみたいな感覚があるのでは。</p> <p>その後の就職先が地元にいっぱいあるのであれば良いのですが、そういう事を考えた場合、鱒高に入ったらこんな事が出来るとか、福祉関係とか、そういった特色ある、どこに行っても自慢出来るようなものがあれば魅力が出て来るのではないかと考えています。</p>
平田町長	ありがとうございます。はい、工藤委員

工藤委員	<p>私は、小中一貫となっている制度ですけど、本当は高校まで一貫でもいいのかなと思うところも無きにしも非ずです。中学校と高校が交流を持つという事は凄く良いことだと思います。</p> <p>運動会を見ている、戸惑いながらやっているのだけれども、鱈高の子供達に付いて行こうとか、中学生が考えたことだから、一步下がって高校生が従おうとか、交流を通して、子供達が地域の中で育まれることが多いので、これからもどんどんやって欲しいと思っています。</p> <p>反面、地域校という問題が出て来ていますが、山崎委員が言われましたが、特徴はあるとは思いますが、それが伝わらない、PRもしてはいるんだけど、インパクトが弱い、と思うのです。</p> <p>1年、2年では全然伝わらないうちに地域校だと言われると辛いところありますが、鱈高としても何がしたいというのをもっとPRしていかないと駄目かなと思っています。</p>
平田町長	ありがとうございます。田附委員お願いします。
田附委員	<p>地元で高校があって歩いて行けるのに、それぞれ違う所に行くというのは、学びたい目的があってなので、鱈高なりの特色があり、入学したら何が出来るのかを強く打ち出していくべきではないかと思いました。</p>
平田町長	尾崎委員お願いします。
尾崎委員	<p>中学生が高校を選ぶ時、どこを選ぶかは非常に悩むことがあるかと思うのですが、高校の見方というか、高校を卒業したときの出口をどう保障していけるのか、そういう事を高校で具体化させているので、それが大きなポイントだと思います。</p> <p>出口の保障の中身ですけど、就職に強いとか進学に強いとか確かにそういう面もあると思うのですが、そうではない考え方もあると思うのです、つまり、一人ひとりの希望を活かしてやる出口保障、私はこうなりたいと言ったときにそれをきちんと保障出来る高校、それにはそれなりのシステムや財政的な援助もあるはずですけど、そういう事も一つの視野に入れた高校があればと。</p> <p>そういう事に向かっていくのも大事な高校の在り方の一つであり、その学校に行けば中学生が持っている夢に近づける、というのが大事かなと思います。</p>
平田町長	ありがとうございます。実際に校長先生をやられた方なので、様々な経験をお持ちかと思えます。それでは教育長お願いします。
阿彦教育長	<p>高校の魅力化というのはやはり必要なのだなと思います。</p> <p>地方の普通科だと特色が無いというので、その中で、上手く教科を組み替えたり時間数を利用して特色ある活動をやったりすればいいのか</p>

	<p>など。</p> <p>SBPの活動もかなり探究的ですが、卒業してからのスキルとか、資格とかも持てるようになればいいのかなとは思っていました。</p> <p>一番大事なのは、希望する子供達を増やしたい、希望するのは中学生ですから、やはり中学生に高校を知ってもらうために、もっと交流して鱒高の生徒達は楽しくやっているな、鱒高に行けば結構おもしろいだろうとか、具体的な経験を積ませて鱒高の魅力を感じさせるような仕組みを我々も仕掛けなければならないのかと思っています。</p> <p>残された日数は少ないかも知れませんが、出来るだけ交流を広げて、具体的に高校ってこういう事をやっているという魅力ある取組みを伝えられるようなのを手伝い出来ればと思いました。</p> <p>それとともに地域の人が盛り上がり、高校を無くすのは絶対だめという運動も必要かと思いました。</p>
平田町長	<p>皆様から様々ご意見頂きました。最後にこれが言いたいというのはありませんか。よろしいですか。</p> <p>長時間に渡りありがとうございました。</p> <p>私は、小学校、中学校を通して将来はこうなるんだというしっかりした目標も持って子供達が育って行くような環境であればいいなと思っています。</p> <p>今日は皆様から様々な意見を頂き、あえてまとめるというのは中々難しいので、皆様のご意見はご意見として町も教育委員会もそれを受け止めながら様々検討して参りたいと思っています。</p> <p>ただ単に子供達を育てるだけでなく、町として魅力がある町でないといけない。鱒ヶ沢高校の全国募集をやるのに、鱒ヶ沢町はこんな町、面白い町ですよとなれば、生徒が来ると思うのです。</p> <p>何も魅力もない町であれば生徒は来ないので、高校の全国募集と町づくりはセットだと思っています。教育と町づくりは一体として我々が考えていきたいというふうに思っております。</p> <p>今日は長時間に渡り貴重なご意見を承りました。本当にありがとうございました。</p> <p>以上で会議を終わります。</p>